

## 認知症サポーター、チームオレンジ、認知症カフェ

「認知症サポーター」とは、認知症とその家族の応援者（サポーター）のことです。サポーターは何か特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族の“心の杖”となる立場の人です。「認知症サポーター養成講座」は、町内会や職場、学校などの講師が出向いて、認知症について勉強会を開催します。時間は1時間30分程度です。受講後に「認知症サポーターカード」をお渡しします。

### 認知症サポーターカード



### 「チームオレンジ」とは

認知症の人や家族の支援のニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぎ、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりの具体的活動が「チームオレンジ」です。認知症サポーター養成講座受講後、ステップアップ養成講座を修了及び予定のメンバーで構成されています。認知症やその家族の方もメンバーとなり、チームで認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを考えていきます。

「チームオレンジ@おのくめ」で一緒に活動しませんか？



### 「認知症カフェ」

認知症の人とその家族と、医療や介護の専門職だけでなく、地域でだれもが気軽に参加できる「集いの場」です。物忘れや計算が難しくなったことを気に自営業を引退した人などが、「コーヒーくらいなら入れることができる」とか、「お菓子や食事づくりならまだまだ負けない」という思いで、ボラティアとして参加することで積極的な社会参加につながり、認知症の進行に歯止めがかかったこともあります。